

平成 29 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

多機能型事業所：(生活介護事業・就労継続支援 B 型事業)

シャイン

## I 運営

働くことを基本に利用者と職員が一丸となって、給食作業を中心に活動した。また、休日の余暇支援を増やし「働くこと・楽しむこと」を実現出来る様に支援した。従たる事業所「つむぎ」の活動体制を強化し多様化した作業や活動を提供した。生活介護利用者の増員には至らなかった。

### 【利用者組織体制】

就労継続B型事業所 定員 10名 利用者現員 11名（男性：7名・女性4名）  
生活介護事業所 定員 30名 利用者現員 29名（男性：21名・女性8名）  
（本体：定員 24名 利用者現員 24名）（つむぎ：定員 6名 利用者現員 6名）

### 【会議・研修】

職員会議	月1回：全職員
ケース会議	随時
給食会議	月1回
軽作業会議	月1回
つむぎ会議	月1回
リーダー会議	随時
各研修（内部・外部）	随時

### 【就労支援事業会計】

売上（41,784,759）円

☆給食（37,427,221）円 ・お惣菜（452,700）円 ・お弁当（573,955）円  
GH配食（2,674,500）円 ・自主生産（食品）（561,595）円  
自主生産（雑貨）（345,750）円 ・自販売機手数料（94,788）円  
定期便（120,000）円 ・段ボール（11,386）円 ・封入作業（6,900）円  
受託作業（102,434）円

☆利用者工賃平均工賃

平成29年度（198,534）円／年	（16,545）円／月
昨年度（186,886）円／年	（15,574）円／月

## II 生活介護事業所

☆利用者工賃平均工賃

平成29年度（192,111）円／年	（16,009）円／月
昨年度（180,878）円／年	（15,073）円／月

### 【作業活動】

所内清掃と消毒、地域清掃、給食作業に使用する白衣等の洗濯・保管、弁当箱回収仕分け、適温カートと番重洗浄、社内便の封筒作成と配達回収を行い、自主生産品では、折り紙レジニアクセサリー・プラバンキーホルダーの作成、紙すきを行っている。

販売会では、販売員として参加し、接客を学びながら交流の機会を設けることができた。

受託作業として（株）プラコスよりシャープペンシル部品の組み立てを請け負っている。プラバンの絵が好評を得て、名刺の挿絵やキーホルダー作成の依頼を受けている。

障害者作品展に作品を出品した。

散歩プログラムや地域清掃に参加して貰い身体を動かす機会を設けた。

ラジオ体操の実施と骨盤底筋を鍛える体操を実施した。

#### 【従たる事業所 つむぎ】

今年度はチーム支援よりも個人支援に重点を置き、各担当がそれぞれ利用者1人1人に合った活動を提供している。その反面、担当以外の利用者を支援するときに利用者が困惑してしまう場面も見られた為、来年度はチーム支援を重点にどの利用者支援に入っても安定かつ挑戦できる支援を目標に行っていく。

- ① 園芸作業→作業場所が通勤寮4階へ移動。より多くの作物を作ることができ、ウエルピア販売会にも参加することができた。
- ② ゆず屋作業→1日約コンテナ4箱分のペースで服をゆずやに納品することができた。
- ③ プラコス作業→12月より導入。1か月3000～4000本ペースで納品を行った。
- ④ 弁当配達・回収業→今年度より2名の利用者が行っている。
- ⑤ メッセンジャー（代行）→急な編成だったがチームで配達先を分け分担して行うことができた。

### Ⅲ 就労継続支援B型事業

☆利用者工賃平均工賃

平成29年度 (219,301) 円/年 (18,275) 円/月

昨年度 (198,590) 円/年 (16,804) 円/月

働く事を基本とし、作業を通して一般就労を意識出来るよう支援を行った。利用者が自分の仕事に責任感や充実感を持てるよう、工賃アップを目指し給食製造技術の向上を図り、多くの作業を利用者主体で行える様取り組んだ。安全で安定した給食の提供を行う為、利用者・職員ともに高い意識を持ち活動した1年となった。また日常的により良い人間関係が構築できるよう、安心して働ける環境づくりに配慮を行った。

衛生面では、定期清掃、手洗いと靴の履き替え、白衣、爪、衣類の清潔、健康状態のチェックなどを毎朝行い事故防止の対策を徹底した。

家庭及びグループホーム向けに、食中毒対策や対応について情報の提供を行った。

作業面では、近隣に向け惣菜販売（直売会・ふれあいマルシェや惣菜配達）を行った。また、外部からの弁当注文やオードブル注文等の定着もみられた。法人内グループホームの食事等の注文が定着し、多様な要望に対応し提供できたが今後は寮の夕食提供スタイルを統一し、作業効率を図っていきたい。来年度は、外部注文を増やし、さらなる作業の充実と工賃アップ、作業意識の向上に取り組みたい。

アクセサリーでは、クルミルからの注文も増え売上を伸ばすことができた。今後も継続的に生産を行くオリティを上げるとともに、販売先の拡大をめざし売上を伸ばしていきたい。

#### 【就労】

一般企業への就労を希望する利用者に向け、様々な支援を行った。社会スキル習得のための取り組みや、求職のためハローワークや面接会、企業実習への同行を行い、必要に応

じて関係機関との連携を図った。今年度は1名が就労している。また以前、一般企業へ就労した利用者へのアフターケアとして、職場訪問を行った。

☆実習

- ・Cさん 飲食店開店準備業務実習 飲食店業務実習
- ・Mさん・Kさん・Yさん ミモザ実習

☆一般就労

- ・Mさん 3月 (社会福祉法人原町成年寮)

☆アフターケア

- ・Yさん 職場訪問実施

【食品売上】

食品売上 (41,689,971) 円

材料費 (16,478,740) 円

【食品売上分析】 単位：千円

☆食品売上計：(41,690) 円 ※ (表示桁以降四捨五入)

給食売上 (37,427) 円・惣菜売上 (453) 円・弁当売上 (574) 円

GH配食 (2,675) 円・自主生産品 (561) 円

☆材料計：(16,479) 円 原価率 (39.5%) (vq%)

(29年度実績) 食品売上 (pq) =41,690 円

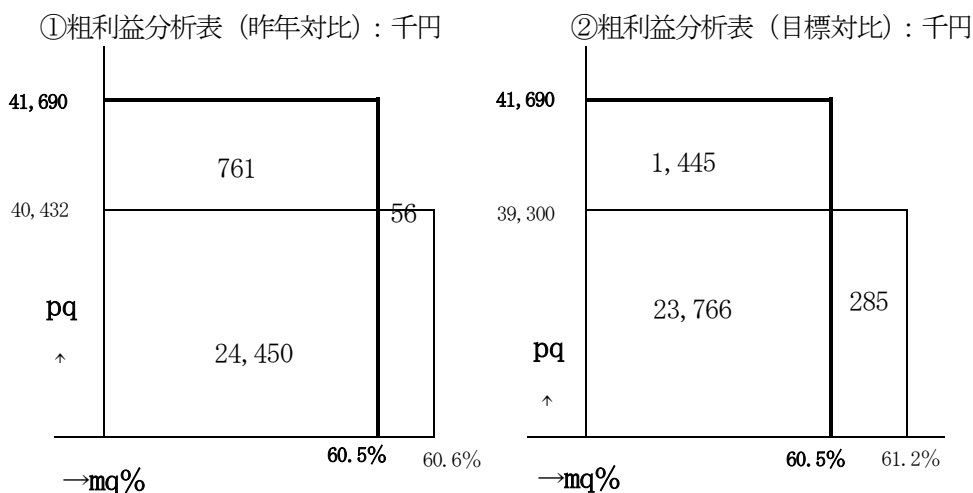
粗利益 (mq) =25,211 円 (粗利益率 60.5%) (mq%)

(28年度実績) 食品売上 (pq) =40,432 円

粗利益 (mq) =24,506 円 (粗利益率 60.6%) (mq%)

(売上目標) 食品売上 (pq) =39,300 円

粗利益 (mq) =24,051 円 (粗利益率 61.2%) (mq%)



○上記の表から、昨年対比及び目標対比とも、利益率は下回ってしまったが売上が上がった為、粗利益が増えていることが解る。GHへの配食が増えたことやクラフトやシート等、新しい事業所が開所し給食の食数が増えた為、売上増に繋がった。

【食品作業】

①調理

各利用者に合った作業を行っている。技術向上を目指し、それぞれ色々な作業に携われるよう配慮した。HACCPに基づき食品の取り扱いや大型機器の取り扱いなど、衛生的且つ安全に行えるよう努めた。毎日作業終了時にヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に努めた。

- ・仕込み作業：野菜の洗浄及び切り物。
- ・検品作業：業者から納品された食品の採取保存。記録簿への記入（品質・温度）、所定の場所への収納。
- ・調理補助：フライヤーやスチコン、真空パックでの調理作業の補助。
- ・菓子製造：自主生産品等の菓子製造、袋詰め。
- ・調理室清掃：作業終了時の清掃・ゴミ出し・室内の清掃。

#### ②配膳

- ・作業の流れを利用者主体で行えるように、各担当を決め一人一人が責任を持って作業ができるよう取り組んだ。
- ・衛生面の意識の向上に努めた。
- ・喫食者個々のニーズに合わせて代替え食や提供食（刻み・ミキサー食・嚥下食・糖尿食）などの対応を行った。
- ・ステンレス等の調理器具に付着するウォータースポットを軽減するため、洗浄後のステンレス調理器具を一度拭きあげてから熱風殺菌庫にて乾燥を行い改善に努めた。
- ・寮の夕食等、お弁当の形態がそれぞれ異なるため、確認をしっかりと行いミスのない様に努めた。

#### ③洗浄

- ・一部役割を明確化し、各々役割に対する責任や作業効率を上げられるよう支援を行った。
- ・作業に係わる利用者の増員や人員の入れ替わりを見越し、利用者の特性及び環境を整えながら部分的に役割を入れ替え、全員がどの洗浄作業に入っても作業を行えるように作業提供を行った。
- ・新たに洗浄作業へ入る利用者への体制作り、既存のメンバーの更なる精度向上を目指した取り組みを次年度の計画で作成していく。

#### ④衛生

- ・調理従事者の細菌検査を月1回行った。
- ・調理従事者は、入室時、健康チェック及び身だしなみチェックを毎朝行った。
- ・調理、配膳室には、2回の手洗いとトリミングを行ってから入室し、手洗いには専用の液体石鹸、爪ブラシ、ペーパータオル、アルコールを用意して使用し、定期的に補充を行った。また、石鹸とアルコールをセンサー式に付け替え、直接手が触れないものにした。
- ・インフルエンザ、ノロウイルス対策として、調理従事者への健康チェックの強化、館内の塩素による毎日の消毒、吐しゃ物処理セットを各階に用意し、迅速な対応が出来るようにした。また、各階のトイレから、呼び出し用のベルを設置し、突然の嘔吐下痢の際にトイレ内から呼べるようにした。
- ・利用者に対し、食中毒及び身だしなみや衛生についての講習を行った。
- ・食器の消毒を、メラミン食器である為75度2時間30分の低温殺菌消毒を行った。
- ・穀類、調味料、乾物類は、衛生上十分配慮した専用の場所に保管した。
- ・厨房等の害虫駆除を外部業者に委託して実施した。飛来昆虫捕虫テープの交換を行った。

- ・グリストラップ清掃を行った。さらに、外部業者にも依頼して清掃を実施した。
- ・厨房内換気扇清掃を実施した。
- ・保健所の立ち入り検査があった。特に問題は無かった。(10/3)

#### ⑤栄養指導

食事療法が必要な利用者には、その都度アドバイスを行なった。また季節により食中毒や手洗いの講習会を開き、利用者に向けて衛生に対する意識付を行なった。

#### ⑥異物混入及び事故対策

毎日作業終了時にヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に務めた。

#### ⑦食品会議

現場の状況報告・職員の体制・利用者の体制・業務の課題や方向性について話し合いを行った。2階調理作業と1階配膳・洗浄作業の職員間の連携に重点を置き話し合いを行なった。安心、安全な給食の提供を行なう為、職員間の意識向上に努めた。

#### 【給食作業】

##### ①食事形態及び代替食の提供

個々のニーズに合わせ代替食、刻み食、ミキサー食、嚥下食、減塩食や糖尿食の提供を行なった。

##### ②検食及び保存食

検食者は味付け、色彩、形態、意見などを検食簿に記入した。

検食時に原材料をそれぞれ50g採取し、保存食を盛り付け時に献立ごとに50g採取し、-20℃で2週間保存した。

##### ③配達

- ・ゆとりを持った時間配分で安全運転での配達を実施している。
- ・気持ちの良い挨拶ができるように支援を行い配達を行った。
- ・配達先の増加に伴い、配達ルート調整を行った。
- ・食数増加や配達ルートの変更を予測し、配達便・配達時間の調整と検討を行った。
- ・従たる事業所「つむぎ」が配達作業に関わり「つむぎ」利用者の活動の幅を広げた。

#### 【食品販売】

##### ①惣菜販売

- ・真空冷凍によるコストを抑えた食品を低価格で近隣・法人内での惣菜販売を行ってきた。日々の献立の中から惣菜販売に適したものをピックアップし、給食と一緒に作ることでコストを抑え、低価格での販売を行うことができた。
- ・近隣、河川敷散歩の方などに向け存在周知を狙い横断幕をデザインし作成している。
- ・11月に行った直売会『シャイン5周年ふれあいマルシェ』により近隣への存在周知も広がり、所内へ惣菜購入に来られる方も増えてきた。
- ・掲示、営業による法人内への焼豚、オードブルの販売を行っている。
- ・営業、販促にて所周辺の特養施設事務所より度々昼食弁当や惣菜の注文を受けている。

##### ②弁当販売

- ・GH、東京ボランティアセンター、本田中学校、通勤寮、その他に弁当配達を行った。
- ・弁当の注文があった際は記録に残し、提供内容を周知した。
- ・安全、衛生に配慮し、丁寧な盛り付けを心がけた弁当作りを行った。

- ・配達時には、専用の保冷バックの使用や保冷剤を使うなど、提供までの温度管理に努めた。
- ・ポスターやチラシなどを用いて宣伝を行い、販路の拡大に努めたことで、地域や、外部の受注も少しずつ増えてきた。
- ・弁当の注文があった際は記録に残し、提供内容を周知した。要望に応じて内容を変更することがあったが、臨機応変に対応できていた。
- ・安全、衛生に配慮し、丁寧な盛り付けを心がけた弁当作りを行った。
- ・配達時には、専用の保冷バックの使用や保冷剤を使うなどして衛生面に配慮した。
- ・配達場所のルート確認を行い、決められた時間内に安全な配達を行った。
- ・ポスターやチラシなどを用いて宣伝を行い、販路の拡大に努めた。

### ③その他菓子

利用者が主体となり、計量や製造作業を行ない、働く意欲へと繋げた。

衛生には充分配慮を行い、完成度の高い商品を作るよう支援を行った。

#### 【雑貨】

①折り紙レジンアクセサリー、プラバンキーホルダー、紙すきの作成をおこなった。

②KURUMIRU

今年度も折り紙レジンアクセサリーを KURUMIRU から受注し、各店舗（東京都庁 B1F・丸井錦糸町店 2F・伊勢丹立川店 4F）にて販売している。

③雑貨

ウェルピア・区役所販売会・ふれあいマルシェに、折り紙レジンアクセサリー・プラバンキーホルダーを出品している。

#### 【販売会・受注販売】

区役所販売会、ウェルピア販売会、各イベントなどで自主生産品の販売を行った。利用者は各販売会、イベントで販売員として参加した。また昨年度は設立5周年ということで大直売会（ふれあいマルシェ）を行い、近隣住民との交流を図っている。

- ・区役所販売会・直売会・ウェルピア販売会・中川に親しむ会・スポーツフェスティバル・ふれあいマルシェ・松本平太郎美容室銀座店・カナダロイヤル銀行・スマイルホーム西井堀

## IV 利用者ケース

・Kさん

栃木の入所施設より転居し、通所先としてシャインへ入所していたが、通所中にグループホームより家庭へ生活の場が戻っている。家庭からの通所が困難となり大島の入所施設へ転居が決まり、シャインも退所となっている。

・Oさん

法人内で職員雇用されていたが、退職しシャインへ入所。従たる事業所つむぎにて軽作業や農作業を行っている。

・Tさん

平成28年度にシャインより就労支援事業所へ入所していたが、退所しシャインへ再入所している。従たる事業所つむぎにて軽作業を主に行っている。

・Mさん

シャインに在籍していたが、法人内での職員募集に応じ、雇用されている。法人内事業所を結ぶ社内便の集荷配達業務を行っている。

・Kさん

2月上旬、区役所より連絡があり、突然お父様が自宅で倒れ亡くなられたこと。お母様の認知症もあり保護されていることの内容だった。(葛飾区の包括支援センターとシャイン、糸でんわでお母様の認知症について連携していた)

本人はいったんあさもえ寮の緊急一時保護を利用し、東立石寮へと正式に入寮する運びとなった。成年後見人を立て今後の対応を糸電話、葛飾区関係機関と連携をしていく。またシャイン利用者のMさんに2015年頃からコーヒー代とたばこ代、お菓子代をねだられ、お金や缶コーヒーを渡していたことが判明。(本人の所持金残高が合わないことから、昼休みの動向を調べていて判明した。)Mさんから謝罪を受けている。分割して返金されることになった。

・Mさん

Kさんのお金で缶コーヒーやお菓子、たばこ代をもらっていたことが判明。寮に連絡をとり、Kさんに謝罪をしている。分割してKさんに返金していく。

## V 行事

利用者が仕事だけでなく、人生の楽しみを感じ充実した日々を送れるよう、様々な行事を実施した。季節に応じて春のお花見、夏はバーベキュー、冬は忘年会など、折々に楽しみを感じられるよう実施している。

年間を通じて、1人1人の希望をできる限りかなえられるよう、ニーズに応じた外出を企画し、個別グループ外出として9組に分かれ希望する外出に参加している。

新しい試みとして、11月に近隣住民への周知を目的として「ふれあいマルシェ」を開催した。利用者もスタッフとして参加し、近隣の方々と交流を持つことができた。また、休日の余暇として、月に1、2回土曜日に休日余暇活動を実施した。シャイン内での創作活動や調理実習、近隣への昼食外出やカラオケ、お笑いイベントへの参加などを行った。

### 【休日余暇】

本年度より土日を利用し、月平均2回の余暇活動を行った。

年に2回遠方外出を組み込み、その他はシャイン内及び周辺での活動を企画実行した。事前に内容を提示し、参加希望をとり、各担当職員の企画により余暇活動を楽しんだ。

・鎌倉外出・ディズニーシー外出・バーベキュー・カラオケ・映画鑑賞・スポーツ・ゲーム・日舞体験・柴又初詣・ランチ・プラ版づくり・アロマオイル作り・グラタン作り・バイキング・パフェ作り・花見等

## VI 保健

### 【定期健康診断】

利用者：葛飾区に住民票がある利用者は、かつしか健康プラザ・葛飾区健診センターにて行った。

職員：葛飾健診センターにて実施した。

### 【健康管理】



- ・服薬の確認と薬の塗布を行った。昼食時は職員が服薬を確認し、チェックシートに記入している。
- ・毎月月末に血圧と体重測定を行った。
- ・平常時、血圧が高い利用者と職員は毎朝通所時に血圧測定を行った。血圧が高かった時は、休んでもらい血圧が下がってから作業に入ってもらった。状態によって、座り作業や軽作業に入った。
- ・寮や家庭と連絡を密に取り、健康管理を行った。

#### 【その他】

- ・細菌検査を毎月行い、提出者の結果は全員陰性だった。
- ・感染性胃腸炎を発症した人：利用者0名
- ・インフルエンザの流行時期は、対策として全員マスクを着用してもらった。

## VII 防災

### 【自衛消防訓練（火災、地震、不審者対応）】

毎月最終週に実施し、火災または地震を想定し館内の利用者・職員を指定の第一時避難場所へ避難する訓練を行った。また不審者の侵入を想定し、不審者に対応した訓練を行った。事前に本田消防署奥戸出張所に「自衛消防訓練通知書」をFAXし記録として保存した。

## VIII 地域交流

地域の方々に開かれた施設としてシャインと利用者を理解して頂けるように、奥戸二丁目町会の活動に積極的に参加した。

- ・地域清掃…利用者の日常的な作業として行った。
- ・町会…地域や町会のお祭りに職員・利用者で参加し（御神輿の担ぎ手・大しめ縄作り・お餅つき）、交流を深めることができた。

## IX ボランティア

休日余暇や行事等でボランティアの受け入れを行った。